

# 【福島県合同輸血療法委員会】

## 輸血に関するアンケート調査集計結果（2021年度）【2023年9月1日時点】

\*参考：【 】内は2020年4月～2021年3月の調査結果

### 診療所版

#### 1 調査対象施設等

- (1) 調査対象施設：県内の診療所36施設 【35施設（うち1施設閉院）】
- (2) 調査対象期間：2021年4月から2022年3月まで
- (3) 調査方法：アンケートへの依頼文書を郵送で送付し、福島県薬務課のホームページよりファイル(Excel形式)でダウンロードし、記入したファイルをメールに添付した形で回収した。対応が困難な場合は、FAX等で回収した。
- (4) 回収率：52.8%（19診療所から回答） 【61.8%（21診療所から回答）】

#### 2 集計結果の概要（項目別）

◎集計結果の報告書を作成するにあたり、診療所名等を公開して良いか 【7診療所（33.3%）】

可：10診療所（52.6%）

I 輸血管理料取得状況について 【該当診療所なし】

0診療所（0.0%）〔管理料Ⅰ：0診療所、管理料Ⅱ：0診療所〕

II I & A取得状況について 【該当診療所なし】

取得済：0診療所（0.0%）

III 輸血療法委員会等について

(1) 輸血療法委員会等の設置数 【3診療所（14.3%）】  
3診療所（15.8%）

(2) 輸血療法委員会を設置しない理由（複数回答あり）

16診療所

（指導医がない：4、他の委員会で協議：5、使用がほとんどない：10、その他：0）

(3) 輸血療法委員長の職種

医師（専門科目：循環器科1、泌尿器科2）

(4) 輸血療法委員会の開催回数（回/年）

12回/年：1、1回/年：2

(5) -1 認定臨床輸血看護師、アフエレーシスナース、自己血輸血看護師、認定輸血検査技師人数（合計）

認定・臨床輸血看護師：0、認定・アフエレーシスナース：0、認定・自己血輸血看護師：0

認定・輸血検査技師：0、細胞治療認定管理師：0

(5) -2 (5) -1のうち輸血療法委員会参加人数（医療施設数/輸血療法委員会有3施設）

認定臨床輸血看護師：0（0/3） 認定・アフエレーシスナース：0（0/3）

認定・自己血輸血看護師：0（0/3） 認定輸血検査技師：0（0/3）

(6) 血液センター職員のオブザーバー受け入れ状況

場合による：3、なし：10、未回答：6

#### IV 指針等について

(1) 輸血部門の設置数等 (複数回答あり)

輸血部門：2 診療所 (10.5%) 【4 診療所 (19.0%)】

}	検査部	2 件
	輸血部	0 件
	薬剤部	0 件
	その他	4 件

血液製剤保管場所 (複数回答あり)

}	検査部	4 件
	薬剤部	3 件
	輸血部	0 件
	その他	7 件

(2) 自記温度計、警報装置の設置数等 (複数回答あり)

自記温度計：11 診療所 (57.9%) 【8 診療所 (38.1%)】

}	記録の頻度	毎日	13 件
		年に1回	0 件
		月に1回	1 件
		週に1回	1 件
		その他	1 件

警報装置：10 診療所 (52.6%) 【9 診療所 (42.9%)】

冷蔵庫・冷凍庫の保守点検の頻度 { 毎日 4 件、年に1回 6 件、週に1回 1 件、  
その他 3 件

(3) 他の管理項目等

1) 運搬容器の設置：2 診療所 (10.5%) 【3 診療所 (14.3%)】

2) 輸血用血液製剤と血漿分画製剤の管理の一元化：4 診療所 (21.1%) 【5 診療所 (23.8%)】

3) 管理記録簿等：16 診療所 (84.2%) 【19 診療所 (90.5%)】

内訳 (複数回答有)：コンピュータ管理：1、手書き伝票：12、両方：2、その他：1

(4) 輸血前の感染症検査の実施

全例：9 診療所、一部のみ：4 診療所、行っていない：6 診療所

1) 輸血前の感染症検査項目：  
HBV 11 件  
HCV 12 件  
HIV 6 件  
HEV 1 件

(5) 輸血前の感染症検査用検体の保管等

全例：4 診療所 (21.1%)、一部：1 診療所 (5.3%)、なし：13 診療所 (68.4%)、  
未回答：1 診療所 (5.3%)

(6) 輸血後の感染症検査の実施

全例：7 診療所、一部のみ：2 診療所、行っていない：10 診療所

1) 輸血後の感染症検査項目：

HBV	8 件
HCV	8 件
HIV	6 件
HEV	1 件

(7) 遡及調査ガイドラインで求められる検査項目の認知（複数回答あり）

HBV：7 診療所（36.8%）、HCV：7 診療所（36.8%）、HIV：7 診療所（36.8%）、  
HEV：3 診療所（15.8%）、知らない：12 診療所（63.2%）

V 輸血検査および輸血実施について

(1) 患者血液型検査の二重チェック：7 診療所（36.8%） 【8 診療所（38.1%）】

(2) 不規則抗体スクリーニング

1) 輸血前不規則抗体スクリーニング：14 診療所（73.7%）【17 診療所（81.0%）】

2) 間接抗グロブリン試験を含む検査法：9 診療所（47.4%）【11 診療所（52.4%）】

3) 陽性となった場合の対応：

{	民間の検査センター	10 診療所
	血液センター	5 診療所
	自施設	2 診療所
	未回答	2 診療所

(3) 交差適合試験

1) 輸血前交差適合試験：16 診療所（84.2%） 【20 診療所（95.2%）】

2) 輸血に先立つ3日以内の検体を用いて実施：16 診療所（84.2%）【18 診療所（85.7%）】

3) 間接抗グロブリン試験を含む検査法：13 診療所（68.4%） 【12 診療所（57.1%）】

4) コンピュータクロスマッチの実施：5 診療所（26.3%） 【6 診療所（28.6%）】

5) 陽性となった場合の対応：

{	民間の検査センター	10 診療所
	血液センター	5 診療所
	自施設	2 診療所
	未回答	2 診療所

6) T&S（タイプアンドスクリーン）の実施：0 診療所（0.0%） 【データなし】

(4) 説明と同意（インフォームド・コンセント）について（複数回答あり）

1) インフォームド・コンセントを担当する主な職種：

{	医師	17 診療所
	看護師	2 診療所

2) 頻回輸血における同意書の取得頻度：

{	月1回	3 診療所、2～3か月に1回	2 診療所、
	週1回	1 診療所、取らない	2 診療所
	その他	11 診療所	

(5) 患者認証方法

- 1) ナースステーションにおいて複数名で確認している：17 診療所 (89.5%) 【19 診療所 (90.5%)】
- 2) ベッドサイドで患者本人を確認している：19 診療所 (100.0%) 【21 診療所 (100.0%)】
- 3) 電子照合システム導入：0 診療所 (0.0%) 【該当診療所なし】

(6) 経過観察

- 1) 輸血開始後バイタルチェック：
 

{	開始時・5分・15分・終了後	10 診療所 (52.6%)
	開始時・15分・終了後	3 診療所 (15.8%)
	開始時・15分	1 診療所 (5.3%)
	開始時・終了後	2 診療所 (10.5%)
	5分・15分	1 診療所 (5.3%)
	開始時	1 診療所 (5.3%)
	15分	1 診療所 (5.3%)
- 2) バイタルチェックの項目：
 

{	体温・血圧・脈拍・酸素飽和度	9 診療所 (47.4%)
	体温・血圧・脈拍・酸素飽和度・その他	1 診療所 (5.3%)
	体温・血圧・脈拍	7 診療所 (36.8%)
	血圧・脈拍・酸素飽和度	1 診療所 (5.3%)
	体温・脈拍	1 診療所 (5.3%)
- 3) 輸血終了後の継続的な患者観察時間：
 

{	30分～1時間	7 診療所 (36.8%)
	1時間～2時間	8 診療所 (42.1%)
	2時間～3時間	3 診療所 (15.8%)
	3時間以上	1 診療所 (5.3%)
- 4) 使用済み製剤バッグの保管期間：
 

{	保管していない	11 診療所 (57.9%)
	輸血翌日	2 診療所 (10.5%)
	2～数日間	3 診療所 (15.8%)
	1週間以上	2 診療所 (10.5%)
	その他	1 診療所 (5.3%)

VI 輸血用血液製剤使用状況について

血液製剤使用単位数合計 874 単位

- (1) 赤血球製剤の使用量は 850 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、97.3%である。
- (2) 血小板製剤の使用量は 10 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、1.1%である。
- (3) 血しょう製剤の使用量は 14 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は 1.6%である。

VII 輸血用血液製剤廃棄状況について

血液製剤廃棄単位数合計 38 単位

【2 単位】

血液製剤の廃棄率は 4.2%である。

【0.4%】

- (1) 赤血球製剤の廃棄量は 38 単位。(廃棄率 4.3%)
- (2) 血小板製剤の廃棄量は 0 単位。(廃棄率 0.0%)
- (3) 血しょう製剤の廃棄量は 0 単位。(廃棄率 0.0%)

【2 単位】

【0 単位】

【0 単位】

○輸血用血液製剤の在庫状況

輸血用血液製剤在庫有 0 診療所 【0 診療所】

## Ⅷ 輸血患者および輸血使用状況について

### (1) 年代別及び男女別輸血状況について

輸血患者総数 232人

90歳以上	70人 (30.2%)
80-89歳	77人 (33.2%)
70-79歳	41人 (17.7%)
60-69歳	24人 (10.3%)
50-59歳	7人 (3.0%)
40-49歳	5人 (2.2%)
30-39歳	3人 (1.3%)
20-29歳	2人 (0.9%)
10-19歳	0人 (0.0%)
5-9歳	0人 (0.0%)
0-4歳	0人 (0.0%)
年代不明	3人 (1.3%)
男性	117人 (50.4%)
女性	115人 (49.6%)

### (2) 診療科別輸血状況 (回答医療施設数: 19)

内科全体数	192人
内科:	170人
消化器内科:	0人
循環器内科:	0人
呼吸器内科:	0人
血液内科:	0人
その他内科:	22人

外科全体数	0人
外科:	0人
消化器外科:	0人
呼吸器外科:	0人
心臓血管外科:	0人
形成外科:	0人
整形外科:	0人
脳神経外科:	0人
その他外科:	0人

その他診療科全体数	40人
小児科:	0人
産婦人科:	5人
泌尿器科:	1人
麻酔・集中治療科:	0人
その他:	34人



(4) 疾患名・人数

血液疾患	: 1件 (22人)
腎疾患	: 7件 (41人)
悪性腫瘍	: 2件 (7人)
消化管出血	: 1件 (8人)
その他	: 1件 (20人)

(5) 使用されている製剤の種類

赤血球製剤	: 318単位
凍結血漿製剤	: 0単位
血小板製剤	: 0単位

(6) 実施中または実施後の有害事象発生: 1診療所  
1)内訳: アレルギー症状 1件

2)発生時点: 外来輸血

{    	院内で実施中	1件
	院内で休憩中	0件
	帰宅中	0件
	帰宅後	0件

(7) 外来輸血に対応した有害事象発生時のマニュアル: 4診療所 (21.1%) 【3診療所 (14.3%)】

(8) 外来輸血実施後の院内での休憩時間

30分未満	2診療所	【2診療所】
30分以上1時間未満	3診療所	【4診療所】
1時間以上2時間未満	5診療所	【3診療所】
2時間以上	1診療所	【2診療所】

(9) 外来輸血が必要とされる患者の紹介先が予め決まっている: 3診療所 (15.8%) 【5診療所 (23.8%)】

(10) 輸血のみを診療目的とする患者の受入: 1診療所 (5.3%) 【1診療所 (4.8%)】

## XII 製剤別購入量・廃棄量について

	購入量 (単位)	廃棄量 (単位)	廃棄率 (%)
赤血球製剤	888	38	4.3
血小板製剤	10	0	0.0
血しょう製剤	14	0	0.0